



和と力

夏休み号

令和5年(2023年)7月20日

宝塚市立売布小学校

宝塚市立売布小学校 学校長 藤山 昌生

知る
見る
やる

明日から、長い夏休みとなります。この時期保護者の方からは、「夏休みはお昼ご飯の準備もあるので大変」という言葉をよく耳にします。学校でしっかり学び、給食をいただけるありがたさから、1カ月余り離れることはなりますが、ひとまわり成長した子どもたちに出会えることを楽しみにしたいと思います。

さて、夏休みは、通常の学期中とは違い、自分で計画立てて学習や生活することが求められます。そのかわり、「やりたいことをやる」「どこかに出かけて本物に触れる」など、じっくりと時間をかけて何かに取り組んだり、経験したりできるいい機会ともなります。私も小学生のころはサッカーとプールで真っ黒に日焼けしていたことや、友だちと一緒に「兵庫県統計グラフコンクール」の作品作りに、没頭していたことを思い出します。子どもたちには、「知る・見る・やる」という合言葉でお話をしました。何かを「知りたい」と思ったときが調べ時。タブレットや本を使ってわくわくしたいですね。実際に「見ること」や「やること」は、保護者のみなさまのご協力があるとのことだと思います。子どもたちの知的好奇心が高まったところで、子どものときにしかできないことを、経験できるといいですね。夏休みを楽しみにしている子どもたちと一緒に、夏休みの計画を考える時間をとっていただけると嬉しいです。

また、今年の夏も昨年までと同様に本当に暑くなりそうです。夏休み中は、安全と健康に十分注意してください。常に「自分の命は自分で守る」「命を大切にすること」を心掛けてほしいと思います。特に、校区内は交通量の多い道路、車や人などが見通しにくい狭い道路、また急な坂道、踏切など多くの危険が潜んでいます。夏休みには普段は通らない時間帯に自転車でも走ることも増えることから、交通事故に十分注意してください。また、外に遊びに行くときには、「たっぷりの水分」と「防犯ブザー」を必ずもって出かけるようにしましょう。

この写真は西宮市立大社中学校の校門のところに立っている石碑で、「死ぬな ケガすな 病気すな」と書かれています。50年以上も前から立っているようで、どのような経緯で建立されたのか私は詳しいことが分かりませんが、その言葉は子どもたちにとっても端的で分かりやすく、是非子どもたちの心にとどめておいてほしい言葉ですので、紹介いたします。

8月29日の始業式に元気に登校してくることを楽しみにしています。

